

[ 条例施行規則64条関係 (500 t 以上1000 t 未満排出事業者用) ]

(様式第33号) (第64条関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月28日

(宛先) 長野市長 荻原 健司

提出者

住所 長野市上高田992-3

氏名 パナソニックホームズ信州株式会社

代表取締役 森川 一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-227-4556

産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画について、長野市廃棄物の適正な処理の確保に関する条例第79条第1項の規定により提出します。

事業場の名称	パナソニックホームズ信州 株式会社 東北信支店
事業場の所在地	長野市上高田992-3
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 279,918 万円
③ 従業員数	68人
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず・・・再生処理業者へ委託→再生骨材として再資源化 がれき類・・・再生処理業者へ委託→路盤材として再資源化 紙くず・・・再生処理業者へ委託→固形燃料として再資源化 石膏ボード・・・再生処理業者へ委託→固形燃料、汚泥乾燥剤として再資源化 繊維くず・・・再生処理業者へ委託→固形燃料として再資源化 廃プラスチック類・・・再生処理業者へ委託→固形燃料として再資源化 木くず・・・再生処理業者へ委託→木材チップとして再資源化

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
 建設技術部 (建設技術部長)  
 ↓  
 各工事現場管理者

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和5年度)実績】						
産業廃棄物の種類	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
排出量	41.28t	37.53t	160.62t	0.15t	7.46t	44.28t
産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス)	建設混合廃棄物(安定型、管)	石綿含有産業廃棄物			
排出量	249.21t	66.59t	21.55t			
①現状		(これまでに実施した取組) 新築工事において、現場での分別、余剰部材の回収の実施、再利用化を徹底する事で減量を図っています。				
【目標】						
産業廃棄物の種類	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
排出量	40.00t	35.00t	158.00t	0.10t	8.00t	43.00t
産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス)	建設混合廃棄物(安定型、管)	石綿含有産業廃棄物			
排出量	247.00t	64.00t	20.00t			
②計画		(今後実施する予定の取組) 解体工事について、現場で可能な限りの分別促進とリサイクル率の高い中間処分場の開発及び委託契約の実施。				

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・新築現場において、事業場内に木くず、ガラス陶磁器、がれき類、金属くず、紙くず、廃プラスチック類を廃棄物保管場所の掲示のもと、ラック(雨濡れ防止)へ分別保管としています。どこの現場廃棄物かわかるようごみ袋にコードを記載。</li> </ul>
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・有価物、リサイクル物の具体的な表示の実施及び認識の向上。</li> <li>・解体現場での分別の徹底及び建設リサイクル法適用除外分においても、同法の基準に応じた分別を実施する。</li> </ul>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	建設混合廃棄 物(安定型、管	石綿含有産業 廃棄物			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
(これまで実施した取組) 特に実施していない。							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	建設混合廃棄 物(安定型、管	石綿含有産業 廃棄物			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。							
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	建設混合廃棄 物(安定型、管	石綿含有産業 廃棄物			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量							
自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量							
(これまで実施した取組) 特に実施していない。							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	建設混合廃棄 物(安定型、管	石綿含有産業 廃棄物			
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量							
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量							
(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。							

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和 5 年度）実績】		産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡スチロール含)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含)	
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	石綿含有産業廃棄物					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量								
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。								
	【目標】								
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	石綿含有産業廃棄物					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量								
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。								

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 5 年度）実績】		産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡スチロール含)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含)
①現状	全処理委託量		41.28t	37.53t	160.62t	0.15t	7.46t	44.28t
	優良認定処理業者への処理委託量		31.78t	37.53t	33.06t	0.15t	7.46t	16.33t
	再生利用業者への処理委託量		34.76t	36.90t	150.21t		7.46t	25.60t
	認定熱回収業者への処理委託量							
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量			0.63t				
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	石綿含有産業廃棄物				
	全処理委託量		249.21t	66.59t	21.55t			
	優良認定処理業者への処理委託量		11.40t	50.99t				
	再生利用業者への処理委託量		249.21t	53.24t				
	認定熱回収業者への処理委託量							
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量			3.12t				
(これまでに実施した取組) 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。								

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール等)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く ず(石膏ボード)
	全処理委託量	40.00t	35.00t	158.00t	0.10t	8.00t	43.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	30.80t	35.00t	32.50t	0.10t	7.00t	15.80t
	再生利用業者への処理委託量	33.70t	34.00t	148.00t		8.00t	25.00t
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量		0.58t				
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス ファルト、レンガ)	建設混合廃棄物(安定型、管 理型)	石綿含有産業 廃棄物			
	全処理委託量	247.00t	64.00t	20.00t			
	優良認定処理業者への処理委託量	11.30t	49.00t				
	再生利用業者への処理委託量	247.00t	51.00t				
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量		3.00t				
	(今後実施する予定の取組) 委託先の処理業者には年1回以上現地確認を実施する。						
	※事務処理欄						

(第6面)

備 考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。  
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類													
		廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード)	がれき類(コンクリガラ、廃アスファルト)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	石綿含有産業廃棄物				合 計	
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	41.28t	37.53t	160.62t	0.15t	7.46t	44.28t	249.21t	66.59t	21.55t				628.67t	
	本年度排出量(計画)	40.00t	35.00t	158.00t	0.10t	8.00t	43.00t	247.00t	64.00t	20.00t				615.10t	
自ら行う(行った)再生利用に関する事項	前年度実績														
	本年度計画(目標)														
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)熱回収の量	前年度実績													
		本年度計画(目標)													
	自ら中間処理により減量する(した)量	前年度実績													
		本年度計画(目標)													
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績														
	本年度計画(目標)														
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	41.28t	37.53t	160.62t	0.15t	7.46t	44.28t	249.21t	66.59t	21.55t				628.67t
		本年度計画(目標)	40.00t	35.00t	158.00t	0.10t	8.00t	43.00t	247.00t	64.00t	20.00t				615.10t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	31.78t	37.53t	33.06t	0.15t	7.46t	16.33t	11.40t	50.99t					188.70t
		本年度計画(目標)	30.80t	35.00t	32.50t	0.10t	7.00t	15.80t	11.30t	49.00t					181.50t
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	34.76t	36.90t	150.21t		7.46t	25.60t	249.21t	53.24t					557.38t
		本年度計画(目標)	33.70t	34.00t	148.00t		8.00t	25.00t	247.00t	51.00t					546.70t
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績													
		本年度計画(目標)													
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績		0.63t						3.12t					3.75t
		本年度計画(目標)		0.58t						3.00t					3.58t

【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。